

バーナー：熱中症警戒アラート発令の対応

○暑さ指数(WBGT)の算出式

1 屋外：WBGT (°C) = $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$

(1) 湿球温度 (水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて観測した温度)

(2) 黒球温度 (黒色に塗装された薄い銅板の球の中心に温度計をいれて観測した温度)

(3) 乾球温度 (通常の温度計で気温を観測した温度)

○スポーツ庁、環境省、厚労省より各都道府県及び区市町村に対応が求められています。

○熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。発表されている日には、外出を控える、屋外でのスポーツを控えるよう指導されています。

○連盟、熱中症警戒アラートの試合中止基準

当連盟では、夏期の大会においては選手、審判員ほか試合に係る全ての人の健康管理に留意し、暑さ指数 (WBGT 値) が 31°C 以上 (気温 31°C とは違います) になることが予想される場合は、熱中症警戒アラート発令の際 原則として試合を中止する対策を行っています。

○熱中症予防対策

暑さ指数 (WBGT 値) が 31°C 以上 (気温 31°C とは違います) になることが予想される場合は、原則として試合を行いません。

暑さ指数 (WBGT 値) は、大会開催当日 6 時 環境省 熱中症予防情報サイトの予測値 (府中) をもとに決定します。

熱中症予防対策として、試合が開始された後であっても、暑さ指 (WBGT 値) が 31°C 以上 (気温 31°C とは違います) を超えた場合は試合を中止します。

試合中止の判断、決定は、当日のグラウンドの大会本部 (審判) が行います。試合中止の場合は、大会審判員の指示に従ってください。

この熱中症予防対策は、年間を通して実施されます。6 月または 9 月、10 月でも暑さ指数 (WBGT 値) が 31°C 以上 (気温 31°C とは違います) の場合、試合を中止します。

なお、中止になった場合は、従来どおり翌週に持ち越されます。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

目黒区軟式野球連盟